

博士最終試験報告書

2024 年 01 月 31 日

総合リハビリテーション学研究科長 殿

審査委員 西尾久英



審査委員 松原貴子



審査委員 村尾 浩



博士最終試験の結果を下記のとおり報告します。

記

氏 名	論 文 題 目	評 価
竹中 有	専門必修科目から算出した grade point average (GPA) とアウトカムの関連 ・ 理学療法学科・作業療法学科学生の情報分析より ・	合格

以上

博士論文審査結果報告書

2024 年 01 月 31 日

論文提出者	論文審査担当者
専攻領域 リハビリテーション科学	審査委員（主査） 西尾久英
専攻分野 精神・身体機能・運動解析学	審査委員（副査） 松原貴子
氏名 竹中 有	審査委員（副査） 村尾 浩
論文題目 専門必修科目から算出した grade point average（GPA）とアウトカムの関連 ・ 理学療法学科・作業療法学科学生の情報分析より ・	
審査結果 <p>論文提出者は、近年の理学療法士・作業療法士卒前教育および卒後教育の動向を捉えつつ、神戸学院大学総合リハビリテーション学部理学療法学科および作業療法学科の卒業生を対象として、入学後の成績、特に専門必修科目から算出した定量的尺度である grade point average（GPA）とアウトカム（卒業・離学、国家試験点数（合否））の関連を明らかにしようと試みた。</p> <p>神戸学院大学では、入学後の成績は全履修科目成績から算出した GPA を用いているが、論文提出者は必修専門科目から算出した GPA を用いると、より鋭敏に離学や国家試験不合格のリスクのある学生を1年次や2年次に抽出できることを明らかにした。これは、専門必修科目から算出した GPA が、具体的な数値を下回ると離学や国家試験不合格になるリスクを数値で示しており、学生の進路指導するうえで用いやすい定量的指標と考えられる。加えて、神戸学院大学以外の研究機関で追試が行われており、専門必修科目から算出した GPA の信頼性を確認できている。</p> <p>これらの点より審査委員会は、提出された論文が重要な知見を集積しており、価値ある業績であると認める。</p> <p>論文審査および最終試験で、竹中氏は論文の内容を適切に説明し、主査、副査からの質問に対して的確に回答した。</p> <p>以上より審査委員会は、竹中氏を博士の学位を得る資格があると認める。</p>	
審査委員（主査） 西尾久英 	